



2024年3月15日

各位

会社名 株式会社昭和真空
代表者名 代表取締役執行役員社長 小俣邦正
(コード：6384)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 田中彰一
電話番号 042-764-0392

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2024年3月15日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状を分析し、改善に向けた方針を下記のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 現状評価・分析

2023年3月末の当社グループ連結のPBRは0.75倍で1倍割れとなっております。過年度においても、2021年3月末時点を除き1倍割れ(0.80倍程度)となっております。2021年3月末時点においては、当社の受注状況が好調に推移していたため、1株当たり当期純利益増加への期待感を背景とした株価が形成されていたと考えられます。

当社グループが製造販売する真空技術応用装置は、電子部品等を加工するための生産設備です。当社製品の主要販売先である水晶及び光学デバイスメーカーの設備投資は、スマートフォンなどの情報通信機器やデジタル家電等の需要に応じて大きく変動しますが、当社業績(受注)も当該変動に大きく影響を受けております。

PBRが1倍割れとなっていることや、当社株式の日々の出来高が少なく株価も大きく変動しない現状について、その要因は、以下を主因とするPERの低さにあると認識しています。

- スマートフォンなどの情報通信機器やデジタル家電等の需要変動に大きく影響を受ける水晶及び光学デバイスメーカー向けの受注が主力であるため、当社グループの業績変動リスクが高く、将来の収益水準に十分な信頼感が得られていない。

連結経営指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高(百万円)	9,943	10,934	10,719	11,964	10,127
営業利益(百万円)	1,021	1,231	1,406	1,670	1,017
営業利益率(%)	10.30	11.30	13.10	14.00	10.10
当期純利益(百万円)	702	856	1,016	1,240	779
1株あたり当期純利益(円)	114.13	139.15	165.11	201.35	126.61
1株当たり純資産(円)	1,437.31	1,508.24	1,625.06	1,795.40	1,870.14
期末株価(円)	1,183	1,192	1,764	1,470	1,406
ROE(%)	8.0	9.4	10.5	11.8	6.9
PBR(倍)	0.82	0.79	1.09	0.82	0.75
PER(倍)	10.37	8.57	10.68	7.30	11.11
1株あたり配当金(円)	60.00	60.00	60.00	60.00	70.00
連結配当性向(%)	52.6	43.1	36.3	29.8	55.3
自己資本比率(%)	67.5	60.0	65.4	63.6	74.5

※2023年3月の東京証券取引所スタンダード市場平均値

PBR : 0.80倍

PER : 13.4倍

2. 改善に向けた方針

現状評価・分析で認識した当社グループの課題を踏まえ、以下の取り組みを通じて業績向上を図るとともに株主や投資家の皆様に当社経営方針などについてご理解をいただき、その結果としてROE10.0%以上、PBR 1倍以上の水準を維持することを目標とします。

(1) 収益基盤の強化

- ① 高度かつ専門的な真空技術を背景に、水晶及び光学デバイス分野以外で、継続的に一定規模の売上が確保できる分野を確立する。
- ② 水晶及び光学デバイスメーカーの次世代製品開発に際し、依頼実験やサンプル成膜依頼に対応するなど初期段階から参画し、製品化された際の生産設備受注を獲得する。
- ③ 大学等研究開発機関と共同で将来有望な要素技術開発に取り組む。

(2) 安定的な株主還元継続

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しております。業績の伸張度に応じた安定的な経営基盤の確保及び財務体質の健全性維持を勘案しつつ、配当性向30～40%を目安としながら、株主資本配当率（DOE）の観点も取り入れて、配当水準の向上と安定化を目指して参ります。

(3) IR活動充実

- ① 非財務情報を含めた積極的な情報開示
- ② 個別ミーティングなどによる双方向のコミュニケーションの充実
- ③ コーポレートサイト充実による当社魅力の発信

以上